

【開催レポート】

バルテス・ホールディングスと滋賀大学、連携・協力に関する協定締結発表会を開催
～AI を「使える」から「安心して使える」へ～

バルテス・ホールディングス株式会社（本社：大阪市西区、東京都千代田区、代表取締役会長 兼 社長：田中真史、以下、バルテス・ホールディングス）は、2026 年 7 月 8 日（水）、国立大学法人滋賀大学（本部：滋賀県彦根市馬場 1 丁目 1-1、学長：竹村彰通、以下、滋賀大学）と、データサイエンス・AI 分野における連携協定締結式および記者発表会を開催しました。

本発表会では、協定締結に至る背景や共同研究の概要を紹介するとともに、「AI を使える」から「AI を安心して使える」へ向けた、AI を安心して活用するための品質保証の考え方や研究の方向性を説明しました。



写真：連携・協力に関する協定 締結発表会出席者
（左から、滋賀大学 深谷良治氏、滋賀大学 竹村彰通氏、バルテス・ホールディングス 田中真史、バルテス・ホールディングス 石原一宏、バルテス株式会社/バルテス・ソリューションズ&AI 株式会社 村上崇）

■バルテス・ホールディングス 代表取締役会長 田中真史 挨拶（要旨）

バルテスグループは、2004 年にソフトウェアテスト専門会社として創業し、「品質」を軸に、システム開発、セキュリティ、AI などへ事業を拡大してきました。2026 年 7 月にはグループ再編により「バルテス・ソリューションズ&AI 株式会社」が始動し、開発から品質保証、運用・保守までを一貫して支援する体制も構築しています。

今回の共同研究は、2025 年より「学術指導」として滋賀大学との連携を進めてきた成果を踏まえ、さらに発展させるもので



す。バルテスグループが20年以上にわたり培ってきたソフトウェア品質保証の知見と、滋賀大学が有するデータサイエンス・AI分野の知見を融合することで新たな価値を創出し、その成果を社会へ還元していきます。

AIやデータ活用が急速に広がるなか、それらを支える品質技術や高度専門人材の育成は、これまで以上に重要になっています。本共同研究を通じて、日本の産業競争力の向上とAI時代における品質保証技術の発展に貢献していきます。

また、私は一般社団法人IT検証産業協会の会長を務めております。本協会会長としても、本共同研究で得られる成果をソフトウェア品質業界全体へ還元し、業界のさらなる発展にもつなげていきます。

■滋賀大学 学長 竹村彰通 氏 挨拶（要旨）

本協定は、ソフトウェアテスト・品質保証の分野で多くの知見と高い技術力を有するバルテス・ホールディングスと、データサイエンス・AI分野の教育・研究を牽引する滋賀大学が連携し、データサイエンスやAIを活用した課題解決および高度専門人材の育成を推進するものです。

滋賀大学は、2017年に日本初となるデータサイエンス学部を設置し、我が国のデータサイエンス教育・研究を推進する拠点として、高度専門人材の育成に取り組んできました。また、企業や自治体との連携を通じて、データを活用した課題解決や研究成果の社会実装を推進するとともに、実社会の課題を題材とした教育活動も進めています。



AI技術が急速に進展する中、これらの技術を社会で安心して活用し、新たな価値の創出につなげるためには、高度なデータ活用技術に加え、ソフトウェアの品質や信頼性を確保する視点がますます重要になっています。

今回の協定により、バルテス・ホールディングスが有する品質向上に関する知見と、本学のデータサイエンス・AI分野における知見との相乗効果によって、新たな研究開発や社会実装が進むとともに、高度専門人材の育成にも大きく寄与することを期待しています。

本協定を契機に両者の連携をさらに深化させ、それぞれの強みを生かした実りある取り組みへ発展させていきます。

■連携協力に関する協定書への署名

挨拶に続いて、田中真史と竹村彰通学長が協定書へ署名し、連携・協力に関する協定を締結しました。



写真：協定書へ署名する田中真史（右）と竹村彰通学長（左）

■協定の概要説明

協定の概要説明では、共同研究の背景や研究内容について説明いたしました。

滋賀大学とバルテスグループが連携する意義

説明：石原一宏

バルテス・ホールディングス株式会社 品質ビジネスイノベーション部 部長 兼 首席研究員
兼 バルテス・イノベーションズ株式会社 取締役

バルテスグループは、ソフトウェア品質保証を専門とする企業として、累計 37,000 件以上、年間約 7,000 件のソフトウェアテストを支援するとともに「品質」を軸にシステム開発やセキュリティ、AI などへ事業領域を拡大してきました。

近年は生成 AI の活用が急速に進む一方で、「AI を誰が評価するのか」「AI が本当に正しい判断をしているのか」といった新たな課題が生まれています。AI を活用する時代だからこそ、AI の判断過程を説明可能にする「Explainable AI (XAI・説明可能な AI)」の考え方を取り入れ、生成された結果だけでなく、その判断に至るプロセスやロジック、エビデンスまで説明できる品質保証が重要になります。



今回の共同研究では、滋賀大学が有するデータサイエンス、AI、最先端の研究知見と、バルテスグループが20年以上にわたり蓄積してきた品質保証の実績、テストプロセス、豊富な実データを融合し、「AI が行う品質保証を、どのように信頼できるものにするか」というテーマに取り組みます。開発の効率化や品質向上、研究成果の社会実装、次世代人材の育成につなげることを目指します。

研究の概要

説明：村上崇

バルテス株式会社 取締役 兼 R&D 事業部 事業部長
兼 バルテス・ソリューションズ&AI 株式会社 取締役

共同研究では「確認ポイントを見極める AI」「AI エージェントの業務組み込み」「自社生成 AI 基盤の構築」「AI 時代の品質基準の構築」の4つをテーマに取り組みます。

AI は大量の候補を提示できる一方で、本当に必要な情報を人が見極めなければならないことや、経験者の暗黙知やノウハウが十分に活用されていないこと、クラウド型生成 AI の利用コストやセキュリティ、データ管理など、実務で活用するうえでさまざまな課題があります。また、AI には再現性がなく、従来のソフトウェアとは異なる品質評価が求められることから「AI をどのように評価し、どのような品質であれば安心して利用できるのか」という新たな品質基準（QA4AI）の確立も必要になります。



これらの課題に対し、バルテスグループが長年培ってきた品質保証の知見と、滋賀大学のデータサイエンス・AI 研究を組み合わせることで、日本企業の AI 活用をさらに推進するとともに、「AI を使える」から「AI を安心して使える」へ、安心して使える AI を社会へ提供してまいります。

■連携・協力に関する協定締結発表会 開催概要

日時：2026年7月8日（水）13:30～14:15

場所：滋賀県庁 本館3階 会見室

出席者：

バルテス・ホールディングス株式会社

代表取締役会長 兼 社長

田中 真史（たなか しんじ）

品質ビジネスイノベーション部 部長

石原 一宏（いしはら かずひろ）

バルテス株式会社 取締役 兼 R&D 事業部 事業部長

バルテス・ソリューションズ&AI 株式会社 取締役

村上 崇（むらかみ たかし）

国立大学法人滋賀大学

学長

竹村 彰通（たけむら あきみち）

データサイエンス・AI イノベーション研究推進センター 副センター長

深谷 良治（ふかや りょうじ）

■バルテスグループについて

バルテスグループは、ソフトウェアテストをメインとした品質向上支援サービスを提供している本業界のリーディングカンパニーです。上流工程における品質コンサルティング、体系的なテストエンジニアの教育プログラムに加え、生成 AI テストツール開発・活用を通じた品質向上にも積極的に取り組んでおります。バルテス株式会社は、ソフトウェアテストに関する国際的な資格認定機関である「ISTQB」の最高位ランクである「Global Partner」に日本で初めて認定された企業です。

【バルテス・ホールディングス株式会社】

企業名：バルテス・ホールディングス株式会社

証券コード：4442（東京証券取引所グロース市場）

代表者：代表取締役会長 兼 社長 田中真史

本社所在地：（大阪本社）大阪市西区阿波座 1-3-15 関電不動産西本町ビル 8F

（東京本社）東京都千代田区麹町 1-6-4 住友不動産半蔵門駅前ビル 11F

設立：2004年4月19日（2023年10月より持株会社体制に移行）

資本金：9,000万円

従業員数：978名（2026年3月末）

ウェブサイト：<https://www.valtes-hd.co.jp/>

<報道関係者 お問い合わせ先>

バルテス・ホールディングス株式会社 広報・IR部 担当：上西、古家

TEL：03-5210-2110 FAX：03-5210-2081 E-mail：prir@valtes-hd.co.jp